町内外から温かい支援
３団体からマスクが寄贈

町内の介護施設などへ
マツマル(株)岩手工場

４月13日、マツマル株式会社(松丸喜一郎社長)の岩手工場からマスクが寄贈されました。このマスクは、抗ウイルス・抗菌の原料を使用した布マスクで、町では、寄贈された200枚を町内の介護施設などに配付しました。

自社製造300枚を寄贈
(有)サンファッション

４月24日、有限会社サンファッション(大町官敎社長)から町に布マスク300枚寄贈されました。これは、大町社長の「マスクが不足している中で、少しでも役に立てれば」という思いから製造されたものです。

マスクを妊婦などに配布
橋爪商事(株)

５月14日、橋爪商事株式会社(橋爪博志社長)から使い捨て不織布マスク２千枚をいただきました。式では、新沼敬宮古支店長から佐藤町長にマスクが手渡され、町では、町内の妊婦などに配布しました。

東北管区行政評価局長表彰
就任12年目 行政相談委員の瀬川さんが受賞

行政相談委員の瀬川三枝子さん(後楽町・73)が、６月11日に東北管区行政評価局長表彰を受賞しました。行政相談委員は、総務大臣から委嘱を受け、国や県、市町村の仕事に対する住民からの苦情や相談などに対し、助言や関係行政機関に対する通知などを主な業務として無報酬で活動しています。

瀬川さんは、平成21年から現在まで行政相談委員として活躍しており、今年で12年目。これまでの業績が顕著であると認められ、今回の受賞となりました。

山田町民文芸広場

散り行かば
　桜花ひらり
　　風に舞う

スイセンや
　花軟らかに
　　優しきかな

沼﨑　悦子（船越・78）

茶柱は
　人に教へず
　　飲めといふ
　　　ひそやかに飲む
　　　　幸運苦し

人の死を
　悼む歌にも
　　おのずから
　　　見ゆるものあり
　　　　歌は恐ろし

内舘　洋一（飯岡・77）

リハビリの
　つくえの上も
　　春なれば
　　　つくえの上に
　　　　花ぞかざらる

妹　鈴木清子へ

昆　ユリ（織笠・88）

みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ
〒028－1392（住所不要）
山田町役場総務課情報係
（☎82－3111内線417）へ。

町長室から

近年、クマの出没が多いと感じる。町内では目撃情報がたびたび寄せられ、そのたびごとに猟友会の方々が出動している。私が子どもの頃は「クマが出た」というだけで大騒ぎになるほど珍しかった。先日は、大浦地区に出没したクマが鶏舎を襲った。被害は１日で収まらず、何日もたたないうちにまた襲われ、合計７羽の鶏が被害にあった。その後、罠で捕らえたクマは、百キロ以上あったというから恐ろしい。人が襲われたらひとたまりもないだろう。クマのほかにも、農作物に被害を与えるシカなど、有害鳥獣の出没も目に見えて増えている。山に餌が少ないためなのか、人口減少による生息域の拡大なのか、原因はさまざまありそうだ。いずれにしろ、町民のために昼夜を分かたず、自らの仕事をなげうち、有害鳥獣の駆除に力を注いでいただく猟友会の皆様には、心より感謝したい。

山田町長　佐藤　信逸